

「グローバル・キャンペーン2005」

～世界の貧困問題の解消に向けて～（その1）

2004年暮れにインド洋で発生した地震による津波は、アジア地域を中心に未曾有の被害をもたらしました。貧困により被害がさらに拡大、悪化するなかで、国際社会の反応は素早く、世界各地から集められた寄付や支援は、過去にないほどの規模に上りました。一方で、災害や事件が起こらなければ報道もされない「忘れられた危機」すなわち、10億とも言われる人たちが日常的に深刻な貧困に苦しめられている現状に目を向け、その解消のために何かをしなければならぬと、多くの人たちが行動を始めています。この2005年を貧困削減に向けて大きく動き始める年と位置づけ、世界各地でキャンペーンが立ち上がっているのです。

05年が特別な年と位置づけられている背景には、一連の出来事があります。00年の国連サミットで189の加盟国が15年までに絶対的な貧困をなくすことを約束したミレニアム開発目標の達成が、5年目の中間レビューの年を迎える前に、すでに危ぶまれています。2001年の9.11事件をきっかけに始まった「テロとの戦い」により、国際社会の関心は、安全保障や安全の確保に大きく傾いてしまったのです。「果たされない約束」への怒りが「南」の国や市民社会を中心に高まるなか、貧困問題を再び国際社会の中心課題に引き戻し、真剣にその解消に当たろうという声が強くなりました。

また、ここ数年、安全保障という面からも実質的な貧困対策を講じることの必要性を唱える政府も増えています。今年の7月にG8サミットの議長国を務める英国政府は、アフリカの貧困問題解決と地球温暖化防止をサミットの主要なテーマ

に掲げました。また、05年にミレニアム開発目標の5年間の中間レビューが行われます。今年は日本にとっても終戦から60年を迎える節目の年にあたりますが、この年を特別な年ととらえ、貧困を生み出している、あるいは深刻化させている社会・経済の構造にも目を向け、貧困を終わらせるために多くの人たちと共に行動をしようというのが、国連やNGOを中心に世界各地で次々と立ち上がっているキャンペーンの共通課題です。

05年のキャンペーンは何が特徴なのでしょう。これまで、国際連合や世界銀行、開発援助機関やNGOなどは貧困削減を開発の上位目標に掲げてきました。残念ながら、これらの機関やNGOのたゆまない努力や力を総結集しても、この目標の達成が困難であることが共通理解になりつつあります。それゆえ、それぞれのキャンペーンは、開発セクターを越えて、これまで途上国問題や貧困問題に直接取り組んでこなかったセクター、組織、個人に積極的に働きかけ、それぞれの力を結集させることで、貧困解消や公正な社会の実現に近づけようとしています。また、貧困は、経済上の問題を越えて、人びとから基本的な権利を奪うものであり、これを放置することは道義的にも許されないという声が大きくなっています。貧困を、人権や平和という観点から問い直すことで、その解消に取り組むことを広く世論に訴えかけるキャンペーンも増えているのです。

すでに展開されているキャンペーンにはどのようなものがあるのでしょうか。国連は、ミレニアム開発目標の達成にむけてキャンペーンを開始しました。そのほかに、市民社会組織などが中心に立ち上げている国別キャンペーンや地域別キ



CSOネットワーク
共同事業責任者

黒田かをり

CSOネットワーク
(www.csonj.org)
国際協力や開発援助の諸活動にシビル・ソサエティを巻き込み、参加を促すことで、一人ひとりの尊厳が保障される社会の実現に寄与する。おもな活動に、CSO(市民社会組織)や国際協力に関する調査・研究、情報発信、異なるステークホルダーの連携促進、貧困削減を目指すグローバルなキャンペーンへの参加など。

Eメール info@csonj.org
URL www.csonj.org



表：ブラジルのキャンペーンマーク

ャンペーン、国際キャンペーンなど、40以上のキャンペーンが展開されています。そして、これらのキャンペーンは独自性を保ちながらも緩やかに連携をしています。Global Call to Action Against Povertyは、南の国と北の国のNGOや労働組合、宗教者団体、その他の市民社会組織を横断的につなく国際キャンペーンで、白いバンドを腕に巻くことを共同行動のシンボルにしています。イタリアでは、「言い訳なし 2015」というキャンペーンが平和運動とも連携しながら展開されています。ブラジルでは、ミレニアム開発目標の8つの目標をマークで表し、リオのカーニバルから銀行の明細書にまであちらこちらにマークを登場させています(表)。

これらのキャンペーンが訴えていることは、貧困問題の解消は、私たち一人ひとりの手にかかっているということです。05年はずでにスタートしました。日本でも、貧困問題に向き合ってみて、それをなくすために、何をしたらいいのか、私たちに何ができるのかを一緒に考える機会にしたいと思います。